

岩崎電気テクノセンター「HIKARIUM」

IWASAKI Techno Center 「HIKARIUM」

No. 19-021-2017作成

新築
事務所

発注者	岩崎電気株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	(株)安藤・間一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	(株)安藤・間首都圏建築支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

高い省電力性と環境負荷低減性能を備えた環境配慮型テクノセンター



北西外観

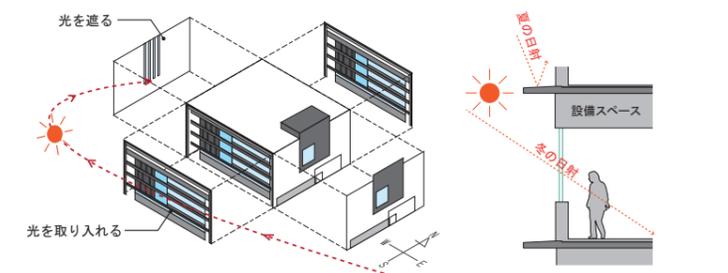
技術開発者が結集するテクノセンターには、組織・部門を超えたコミュニケーションによるシナジー効果を生み出すためのデザイン、駅前立地を生かしたランドマーク性が求められた。

「門」に見立てた外観は、「技術」の往来する「門」カーテンウォールのある「軸線：コラボエリア」や、社員がほっと一息をいれる「バルコニー」などを設け、社員同士のコミュニケーションを促し、働く様子が外観に表れるデザインとしている。夜間は門型をフルカラー投光器にてライトアップし、象徴性を高めている。

各方位の外観については、門型の特徴を生かした開口部デザインにより建物外皮の熱負荷を低減している。

■南・北面：開口部を多く設け光を取り入れ、ガラスはLOW-Eペアガラスを採用。各層でスラブをはねだし、夏季の日射を遮る計画とする。

■西・東面：開口部を絞り日射負荷を低減する。



日射負荷低減に適した各方位ファサード

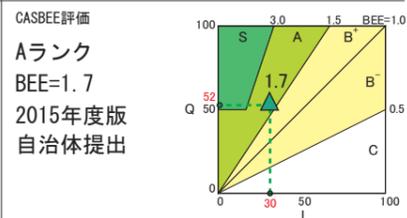


外観



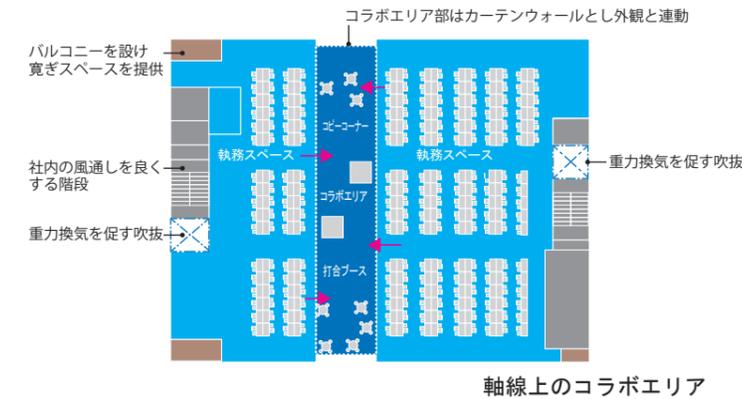
建物データ

所在地	埼玉県行田市
竣工年	2017年
敷地面積	62,914m ²
延床面積	6,479m ²
構造	S造
階数	地上4階



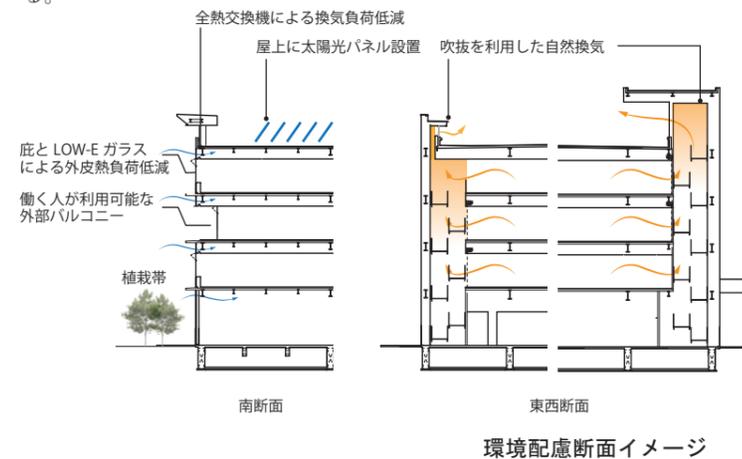
DALI調光システム採用による高い省電力化の実現

来客を迎えるエントランス、会議室や執務室の照明にはDALI調光システムを採用し、照明制御により照度と色温度を自動調節することで高い省電力化を実現している。制御による移ろいのある光が最大限感じられるようエントランスは余計な装飾を排し、白を基調とした配色デザインとしている。一方、執務室にはカーテンウォールのある軸線上にミーティングスペースやコピー機能を集約したコラボエリアを設けている。コラボエリア照明は時間帯や利用形態に適した色温度、照度の設定を可能とし、働きやすい環境づくりに寄与している。



エコボイドを有する2つの吹抜階段

建物の東西両端部は、エコボイドを併設した階段で各階を繋いでいる。階段の最上部には開閉窓を設置し、エコボイド内に上昇気流を発生させるとともに、各フロアにて空気を誘引する力を発生させる。これにより、居室の外気導入及び余剰排気排出のための送風機動力を削減することが可能となり、省エネおよびCO₂排出量の削減に寄与している。また、屋上部に太陽光発電パネルを設置し、発電した電気をエントランス照明に利用し、壁面ディスプレイによる見える化を図っている。



設計担当者

統括：西田雅一／建築：河地博之、佐貫亮平／構造：辰井淳、横山優、有間雄太
設備：川崎一範、金原英佑／照明デザイン：松本浩作

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

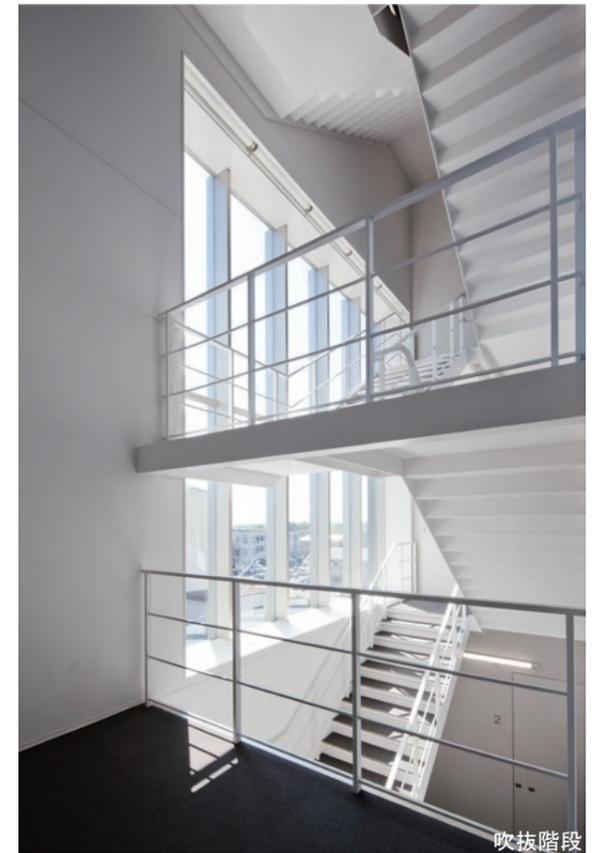
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物ライトアップ)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (庇による日射制御、LOW-Eペアガラス、方位に即した開口部)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (エコボイド、太陽光発電)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明、照明制御システム)



エントランス



執務室(コラボエリア)



吹抜階段